

昭和41年度 決算公表について

地方自治法第233条第5項の規程に基づき、昭和41年度の決算の要領を次のとおり公表する。

昭和42年9月15日

泉崎村長 小針喜一郎



村民の動き

【毎月15日発行】

	本月	前月	
帯世数	1,069	1,067	
人 {	男	2,814	2,814
	女	2,924	2,928
口計	5,738	5,742	

編集者	柴田一雄
総務課長	
発行所	泉崎村役場
印刷所	ワタベ印刷所

1. 昭和41年度決算に当り、地方自治法第233条第2項の規程により監査委員の審査に付し、別記の通り監査委員の意見書が提出された。
2. 昭和41年度決算の概要は別記の通りであった。
3. 昭和41年度決算の認定に当り9月定例村議会に提出し9月5日村議会の認定があつた。

監査執行報告書

1. 監査を執行した年月日
昭和42年8月11日午前9時より至午後5時まで
2. 監査実施した場所 泉崎村役場
3. 監査に立合の議員 議長 中野目角嗣
副議長 木野内重夫
議会総務委員 箭内進、久保木健、緑川米吉
6. 監査の種類
昭和41年度泉崎村一般会計歳入歳出決算
昭和41年度泉崎村国民健康保険特別会計歳入歳出決算
昭和41年度泉崎村直営診療所特別会計歳入歳出決算
昭和41年度泉崎村簡易水道特別会計歳入歳出決算
昭和41年度迄の泉崎村財産管理状況について
昭和41年度一般事務について
7. 監査の結果について
監査の要領は事業の執行状況会計経理面を検討し、会計に關係諸主要簿並に証書類その他会計に關係する書類等と照査し、事業については現場を調査した結果いづれも異状ない。
会計については計数的には正確且つ正当と認めた。
8. 監査の意見書別紙の通りである。
上記の通り監査を終了したので地方自治法第199条第8項の規定に基づき報告いたします。

昭和42年8月15日

代表監査委員 木村三四二
監査委員 兼子平

監査の意見書

1. 村財政の運営と今後について

小針村長は永年地方自治の財政通で村民より信望厚く選ばれて無競争村長に当選せられ、収入役も会計事

務の経験永く会計事務通であり、議会各種団体の協力と職員の愛村心より住民福祉の実を挙げるため常に村行政全般について如何にしたら良い村が建設出来るか、常に勉強と研究等により消費的経費の節約に依り事業費に於て小学校の改築、泉川河川改修、農業構造改善事業を初めとし、決算額に於て73,607千円、決算総額の56.3%の投資的経費であるにもかかわらず歳入総額141,452,387円、歳出額130,806,644円、差引残高10,646,243円で、今後に残された事業執行上誠に喜びに堪えません。感謝の意を表します。

2. 一般会計歳入予算と調定額収入額について

最終予算は140,734,000円、調定額142,785,624円、収入済額141,452,887円、未収入金1,332,744円、予算の編成については合理的計画的な策定であり良好である。調定額に対する収入率は、村税93.61%、その他100.00%でやや良。

村税滞納額について

村民税	115,143円	内訳	現年度 330,060円
			滞納繰越 82,683円
法人現年	2,400円		
固定資産税	1,110,310円	内訳	現年度 231,950円
			滞納繰越 878,360円
軽自動車税	91,595円	内訳	現年度 31,770円
			滞納繰越 59,824円
旧法による税	3,500円	内訳	現年度 ナシ
			滞納繰越 3,500円
計	1,320,547円		

滞納整理については村長指導の元に強力に係員が年間を通じ督促し個人的にも滞納額が年々減少して居り、係員の努力は認められる。その一例として一般村税37年度2,763千円、40年度2,050千円、41年度1,735千円、国保税滞納額、37年度1,783千円、40年度1,843千円、41年度1,794千円であり更に今年度に繰越された、滞納額は普通税1,321千円、国保税1,601千円とそれぞれ前年比414千円減、193千円減となつており努力の跡が大いに見られる。

41年度小学校の改築構造改善事業等に依り小針村長の健全財政樹立のため蓄積した一般財政基金運用繰越金より4,938,000円小学校建築積立金より、250万円私下村債に於ても小学校改築のため22,20万円の増加等に

依り今後継続事業の多い時に工事の執行上相当困難を来すので村民一体の御協力を願います。

村債について参考まで御知らせいたします。

41年度決算償還元利合計 5,696,138円の支払で借金の支払も多くなりました。

3、一般会計歳出について

予算額140,734,000円、支出額130,806,644円、不用額9,927,356円、予算現額に対する支出率92.95%、不用額の内容について節で10万円以上のもの節約に協力した金額

1 議会費	42,271円	2 総務費	597,788円	
3 民生費	103,384円	4 衛生費	395,661円	
5 労働費	940円	6 農林水産業費	2,037,419円	
内訳	3 農業総務費の3職員手当	173,226円		
	9 旅費	102,740円		
	4 農業構造改善事業推進費			
19 負担金補助及び交付金	114,000円			
	6 畜産費の8報償費	149,000円		
	7 農地費の19負担金補助及び交付金	833,610円		
	7 商工費	67,750円	8 土木費	276,807円
	9 消防費	94,478円	10 教育費	503,727円

以上の協力に依つて10,646,243円の残金を生じたので村長の施政方針に大協力者であつて何らかの各課長を中心に表彰すべきであり、監査委員として感謝の意を表します。

4、継続繰越額について

関係職その努力により継続繰越額なし。

5、特別会計国民健康保険事業決算について

41年度の運営は相当困難を来したこの原因は保険の給付 $\frac{70}{100}$ 世帯全員給付に改正実施した。

これが為に40年度の保険給付額は15,879,761円を41年度は2,283,077円の著しく増加した結果である。住民の私達は誠に幸甚であるが保険事業団ではこれが今後は益々運営の困難を来すもので此の件について再検討を要す。

41年度実績歳入額21,064,596円、歳出額21,061,530円 差引残高 3,066円

(1) 歳入予算編成と調定額収入額について

予算額21,584,000円、調定額22,668,472円、収入額21,064,596円、未収入額1,603,876円、調定額に対する収入率は保険税82.94%、その他100%良と認む。予算編成について国庫支出金13,060,000円、調定額12,444,383円、差引不足額即ち欠損額 615,617円あり、予算の策定に過大の公債であり今後注意せられたい。

保険税について1,603,876円滞納があり遺憾である。これが整理についてさらに努力せられたい。

(2) 歳出予算について

予算額歳入額21,584,000円、歳出額21,061,530円、予算現額に対する支出率 97.58%、歳出の内容については、支出については出来得る限り節約をなし、不用額 522,470円をみたことは誠意に對し感謝の意を表す。

(3) 予算議決事項に対する執行は完全執行している。

6、特別会計直診決算について

本事業は40年度までは他町村にみられない良好の運営であつたが41年度に於て福島バス運転が東地区太田川泉崎間の廃止と、バス運輸事業の発達により白河・矢吹方に便利になり、これが為めに患者一大減少を来し収入の減少見た。その内容で、入院収入で予算額1,850,000円、実収89,288円、収入不足額1,760,712円となります。

41年度歳入13,145,501円、歳出12,107,206円、差引残高1,038,295円であるが40年度より繰越金が2,048,454円にして41年度単独収入とした場合は1,010,159円の赤字となります。此のような状態であるが住民の保険事業としては、赤字は問題でないと思われませんが、これが再建のためには交通便をよくする事と住民が協力して利用することです。此点について村民の協力を願います。

7、特別会計水道事業決算について

本事業は水量の不足により新規加入させる事が出来ないために年々収入の不足を生じ、現在までの赤字額は2,429,031円、此の様に年々増加して居るので此れが再建したいと考えるが再建は拡張で金の問題になるが時代的な事業であるので今後は此の問題について研究していただきたい。

収入額922,688円、支出額3,351,719円、支出の内訳事業費231,886円、水道事業費 473,840円、公債費 671,000円、一般村費立替金1,975,000円

8、財産の管理について

事務管理は良好であるが学校敷地の管理上速に境界標柱を設置すること。

9、入札契約等調査したが異状ない

10、不納欠損額について<村税>

(1) 村民税 12,190円 2 固定資産税 9,180円
軽自動車税 1,870円 計 12,190円

内容を調査したが賦課違い、転出行方不明等で止むなきものと認めた。

11、一般事務について 良好である。

12、火災防止について

火災防火機具については自動車ポンプとガソリン車等相当数が設備せられて、此れが関係消防団員に於て常に機動車の整備はして居るが、第1の水のことにについてはあまり感心しないようであるので此の点について団長を中心に防火整備を急速に整備せられたし。

以上

歳 入 昭 和 4 1 年 度 泉 崎 村 一 般 会 計 歳 入 歳 出 決 算 書

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不欠損額	能額	収未済額	収入済額	予算現額と収入済額との比較
1. 村 税		19,439	20,844	16,512	12		1,320		73
	1. 村 民 税	2,777	2,901	2,785	1		115		8
	2. 固 定 資 産 税	11,551	12,691	11,571	9		1,110		20
	3. 軽 自 動 車 税	1,277	1,371	1,277	2		91		0
	4. 市 町 村 た ば こ 消 費 税	3,000	2,998	2,998					△ 2
	5. 電 気 ガ ス 税	832	878	879					47
	6. 木 材 取 引 税	0	0	0					0
	7. 旧 法 に よ る 税	2	5	1			4		0
2. 臨 時 地 方 特 例 交 付 金		950	950	950					0
	1. 臨 時 地 方 特 例 交 付 金	950	950	950					0
3. 地 方 交 付 税		44,211	44,211	44,211					0
	1. 地 方 交 付 税	44,211	44,211	44,211					0
4. 分 担 金 及 負 担 金		277	332	332					55
	1. 分 担 金	267	322	322					55
	2. 負 担 金	10	10	10					0
5. 使 用 料 及 手 数 料		279	334	334					0
	1. 使 用 料	2	4	4					2
	2. 手 数 料	277	330	330					53
6. 国 庫 支 出 金		11,763	11,814	11,814					51
	1. 国 庫 負 担 金	261	261	261					0
	2. 国 庫 補 助 金	11,085	11,087	11,087					2
	3. 国 庫 委 託 金	417	466	466					49
7. 県 支 出 金		31,156	31,204	31,204					48
	1. 県 負 担 金	584	601	601					17
	2. 県 補 助 金	29,835	29,867	29,867					32
	3. 県 委 託 金	737	736	736					△ 1
8. 財 産 収 入		1,135	1,362	1,362					227
	1. 財 産 運 用 収 入	478	660	660					182
	2. 財 産 売 払 収 入	657	702	702					45
9. 寄 附 金		1,278	1,239	1,239					△ 39
	1. 寄 附 金	1,278	1,239	1,239					△ 39
10. 繰 入 金		2,500	2,500	2,500					0
	1. 基 金 繰 入 金	2,500	2,500	2,500					0
11. 繰 越 金		4,938	4,938	4,938					0
	1. 繰 越 金	4,938	4,938	4,938					0
12. 諸 収 入		608	856	856					248
	1. 延 滞 加 算 金 料 及 過 過 金 料	85	91	91					6
	2. 村 預 金 利 子	380	465	465					85
	3. 雑 入	143	300	300					157
13. 村 債		22,200	22,200	22,200					0
	1. 村 債	22,200	22,200	22,000					0
合 計		140,734	142,785	141,452					

歳 出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰 上り額	不用額	予算現額と支 出済額の比較
1. 議 会 費		2,705	2,663		42	42
	1. 議 会 費	2,705	2,663		42	42
2. 総 務 費		17,038	16,440		598	598
	1. 総 務 管 理 費	11,572	11,155		417	417
	2. 徴 税 費	3,602	3,570		31	31
	3. 戸籍住民登録費	261	220		40	40
	4. 選 挙 費	1,305	1,257		47	47
	5. 統 計 調 査 費	224	170		53	53
	6. 監 査 委 員 費	74	64		10	10
3. 民 生 費		1,992	1,889		103	103
	1. 社 会 福 祉 費	1,967	1,884		83	83
	2. 児 童 福 祉 費	25	5		20	20
4. 衛 生 費		2,948	2,552		396	396
	1. 保 健 衛 生 費	1,748	1,374		374	374
	2. 清 掃 費	1,200	1,178		22	22
5. 労 働 費		167	166		1	1
	1. 労 働 諸 費	167	166		1	1
6. 農 林 水 産 業 費		45,445	43,376		2,069	2,069
	1. 農 業 費	44,248	42,210		2,038	2,038
	2. 林 業 費	1,197	1,166		31	31
7. 商 工 費		324	256		68	68
	1. 商 工 費	324	256		68	68
8. 土 木 費		8,286	8,009		277	277
	1. 土 木 管 理 費	1,410	1,369		61	61
	2. 道 路 橋 梁 費	3,754	3,539		215	215
	3. 河 川 費	3,122	3,100		22	22
9. 消 防 費		2,439	2,345		94	94
	1. 消 防 費	2,439	2,345		94	94
10. 教 育 費		47,918	47,414		504	504
	1. 教 育 総 務 費	1,944	1,888		56	56
	2. 小 学 校 費	41,724	41,445		279	279
	3. 中 学 校 費	3,163	3,094		67	67
	4. 社 会 教 育 費	981	904		77	77
	5. 保 健 体 育 費	106	81		25	25
11. 公 債 費		5,725	5,696		29	29
	1. 公 債 費	5,725	5,696		1	1
12. 予 備 費		5,747	0		5,747	5,747
	1. 予 備 費	5,747	0		5,747	5,747
合 計		140,734	130,806		9,928	9,928

一般会計決算のあらまし

昭和41年度一般会計は当初予算 122,067千円の規模であつたが、その後農業構造改善事業や学校建築並に泉川河川改修事業量の増加に伴い、4回の予算補正により

最終予算額は 140,734千円となり、更に決算額は、歳入 141,452千円、歳出130,806千円、歳入歳出差引残金10,646千円となり、3,000千円を基金に積立て7,646千円が昭和42年度に繰越された。

昭和41年度決算の概要

(単位千円)

歳入

(第一表)

区 分	41年度(A)		40年度(B)		比 較	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	A-B	A/B
村 税	19,512	13.8	17,371	17.0	2,141	112.3
地方交付税	44,211	31.2	40,110	39.3	4,101	110.2
分担金及負担金	332	0.2	450	0.4 [△]	118	73.7
使用料及手数料	334	0.2	268	0.3	66	124.6
国庫支出金	11,814	8.3	1,867	1.8	9,947	632.7
県支出金	31,204	22.1	29,429	28.8	1,775	106.0
財産収入	1,362	1.0	249	0.2	1,113	546.9
寄附金	1,239	0.9	1,051	1.1	188	117.8
繰越金	4,938	3.5	2,052	2.0	2,886	240.6
諸収入	956	0.6	654	0.6	212	130.8
繰入金	2,500	1.8	2,000	2.0	500	125.0
村 債	22,200	15.7	6,600	6.5	15,600	336.3
特例交付金	950	7.0	0	0	950	0
計	141,452	100.0	102,101	100.0	39,351	138.5

歳出

(第二表)

区 分	41年度(A)		40年度(B)		比 較	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	A-B	A/B
議 会 費	2,663	2.0	1,709	1.8	954	155.8
総 務 費	16,440	12.6	14,739	15.8	1,701	111.5
民 生 費	1,889	1.4	1,772	1.9	117	106.6
衛 生 費	2,552	2.0	1,570	1.7	982	169.5
労 働 費	166	0.1	148	0.2	18	112.1
農 林 水 産 業 費	43,376	33.2	38,294	44.1	5,082	113.2
商 工 費	256	0.2	282	0.3 [△]	26	90.7
土 木 費	8,009	6.1	14,368	15.4 [△]	6,359	55.7
消 防 費	2,345	1.8	2,141	2.3	204	109.5
教 育 費	47,414	36.2	14,331	15.4	33,083	330.8
公 債 費	5,696	4.4	3,809	4.1	1,887	149.5
計	130,806	100.0	93,163	100.0	37,643	140.4

昭和41年度

事業成績

歳出 (性質別)

区 分	昭和41年度(A)		昭和40年度(B)		比 較	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	A-B	A/B
人 件 費	25,297	19.4	20,060	21.5	5,237	126.1
物 件 費	17,288	13.2	11,256	12.1	6,032	153.5
維持修繕費	926	0.4	860	0.9 [△]	234	72.7
扶 助 費	788	0.6	700	0.8	88	112.5
補 助 費 等	5,849	4.5	5,832	6.2	17	100.2
普通建設事業費	73,647	56.3	50,562	54.3	23,085	145.6
災 害 復 旧 費	0		0			
公 債 費	5,696	4.4	3,809	4.1	1,887	149.5
積 立 金	1,585	1.2			1,585	
出 資 金	30		84	0.1 [△]	54	35.7
繰 出 金						
計	130,806	100.0	93,163	100.0	37,643	140.4

普通建設事業費で73,607千円決算の概要(第二表)を更に性質分類表並に事業成績調査によつて内容を説明すると次の通りとなります。

課 名 総 務 課 事 業 成 績 調 査 書

事 業 名	事 業 計 画	事 業 成 績	事 業 費	左 の 財 源 内 訳					
				国 庫 支 出 金	県 支 出 金	起 債	負 担 金 寄 附 金	そ の 他	一 般 財 源
1. 村有林造成事業	大字泉崎字下陣場1番地 あかまつ 8,500本	伐採跡地に新植(春) あかまつ 96%	127,598		57,320				70,278
2. 消防施設整備事業	小型動力ポンプB2級 1台購入	小型動力ポンプ購入配置することにより着々施設が充実され消防活動に大きな威力を示した	520,000	130,000			195,000		195,000

課 名 産 業 課

草地造成改良事業	草地造成 4 ha 牧道 1=320m W=4.0m	草地造成 4 ha 牧道 1=320m W=4.0m	1,159,300		683,000		385,000		91,300
整備林道長久保線	延長 340m 巾員 3.60m	延長 355m 巾員 3.60m	508,815		249,500				259,315
〃 二期	延長 320m 巾員 3.60m	延長 320m 巾員 3.60m	605,180		300,000				305,180
泉川河川改修工事	延長1,111m 巾員25.40m 永久橋 2ヶ所	延長1,111m 巾員25.40m 永久橋 2ヶ所	48,000,000	45,650,000					2,350,000
村道補修工事	延長40,000m	延長38,000m	1,310,598						1,310,598
道路改良工事	延長 250m 巾員 6.50m	延長 250m 巾員 6.50m	2,100,000		1,400,000				700,000
側溝工事	延長 125m 巾員 0.50m 深 0.60m	延長 125m 巾員 0.50m 深 0.60m	450,000		300,000				150,000
舗装工事	延長191.80m 巾員 5.50m 面積 1,137m ²	延長191.80m 巾員 5.50m 面積 1,137m ²	2,300,000		1,610,000				690,000
暗渠工事	延長 1.0m 巾員 4.00m 深 1.25m	延長 1.0m 巾員 4.00m 深 1.25m	69,000					19,000	50,000
農業構造改善事業 土地基盤整備事業	区画整理 田 37.59ha 畑 25.21ha 68.69ha 道路 7,929m 水路 11,647m	区画整理 田 37.59ha 畑 25.21ha 68.69ha 道路 7,929m 水路 11,647m	30,177,000	15,088,000	6,035,000			9,054,000	
	確定測量 田 351筆 59.78ha 78.33ha 畑 96筆 8.89ha 道路 32筆 5.06m 水路 73筆 3.84m 雑地 28筆 0.76ha	確定測量 田 351筆 59.78ha 78.33ha 畑 96筆 8.89ha 道路 32筆 5.06m 水路 73筆 3.84m 雑地 28筆 0.76ha	780,000	180,000	72,000			528,000	
	換地計画 78.33ha 従前地 換地 田472筆60.70ha 田354筆60.27ha 畑156筆12.34ha 畑163筆 8.96ha 計828筆73.04ha 計517筆69.23ha	換地計画 78.33ha 従前地 換地 田472筆60.70ha 田454筆60.27ha 畑356筆12.34ha 畑163筆 8.96ha 計828筆73.04ha 計517筆69.23ha	512,000	254,000	101,000			157,000	

経営近代化 施設事業	トラクター 45.5ps 本機 2台 及び附属作業機 動力防除機スワーズ プレーヤー 1台 格納庫 1棟 152,072m ²	トラクター 45.5ds 本機 2台 及び附属作業機 動力防除機スワーズ プレーヤー 1台 格納庫 1棟 152,072m ²	9,137,000	4,568,000			4,569,000	
稲作改善対策 特別事業	稲作改善資金造成 1,585,000円	稲作改善資金造成 1,585,000円	1,585,000	1,584,661				339
異常気象対策 防霜対策事業	防霜対策広報活動 村内 5回	防霜対策広報活動 村内 5回	4,000					4,000
畑地土壌病害虫 防除対策事業	関和久地区 トマト萎凋病 クロールピクリン 600ℓ	関和久地区 トマト萎凋病 クロールピクリン 600ℓ	204,000		95,700		108,300	
改良推進員 活動事業	研修会 5回 水稲坪刈競技会 1回 生活改良講習会 2回 水稲生産力増強講習会 1回	研修会 5回 水稲坪刈競技会 1回 生活改良講習会 2回 水稲生産力増強講習会 1回	70,000		19,000			51,000
土地基盤整備事業 促進対策助成事業	泉崎地区 総事業費 33,435,000円 定額 1,275,890円 堂ノ下地区 総事業費 17,146,000円 定額 1,500,000円 下町尻地区 総事業費 14,000,000円 定額 1,400,000円	泉崎地区 総事業費 33,435,000円 定額 1,275,890円 堂ノ下地区 総事業費 17,146,000円 定額 1,500,000円 下町尻地区 総事業費 14,000,000円 定額 1,400,000円	4,175,890				4,175,890	
経営近代化 施設事業 促進対策助成事業	泉崎地区 川崎農協 トラクター 45.5ps 本機 2台 及び附属作業機 動力防除機スワーズ スプレーヤー 1台 格納庫 1棟 152,072m ² 総事業費 9,137,000円 定額 935,000円	泉崎地区 川崎農協 トラクター 45.5ps 本機 2台 及び附属作業機 動力防除機スワーズ スプレーヤー 1台 格納庫 1棟 152,072m ² 総事業費 9,137,000円 定額 935,000円	935,000				905,000	
鶏ニューカッスル 病防疫対策事業	関平地区 50戸 25,000羽	関平地区 50戸 25,000羽	175,000				116,750	58,250
あぶら虫共同駆除 事業	堂ノ下地区 2回実施	堂ノ下地区 2回実施	24,060				14,060	10,000
開拓婦人ホーム 建設事業	泉崎愛宕山 開拓婦人ホーム 1棟 123,72m ² 総事業費 2,782,190円 定額補助	泉崎愛宕山 開拓婦人ホーム 1棟 123,72m ² 総事業費 2,782,190円 定額補助	400,000					400,000
泉崎村農業共済組 合事務所購入補助	47,8m ² 総事業費 905,000円 定額補助	定額補助	300,000					300,000
野菜集荷所 建築事業費補助	踏瀬地区 1棟 m ² 総事業費 2,400,000円 定額補助	踏瀬地区 1棟 m ² 総事業費 2,400,000円 定額補助	440,000					440,000
商工会一般 事業補助	村内一円 97名 年間事業費 153,809円 定額補助	村内一円 97名 年間事業費 153,809円 定額補助	60,000					60,000

課 名 住 民 課

事業名	事業計画	事業成績	事業費	左の財源内訳						
				国 支 出	庫 金	県 支 出 金	起 債	負担 金 寄 附 金	そ の 他	一 般 財 源
衛生関係 1. 結核予防検診	41. 4. 25 5. 26 7. 14 (1) 小中学校生徒 対象者 一小 573 二小 401 1.516名 中学 542 (2) 40, 9. 5. ~15 (3) 一般住民 対象者 3,499人	受診者 (1) 一小 573 二小 401 1.516名 中学 542 (2) 一般住民 2,834名	190,216	126,810						63,406
2. し尿処理関係	西白河地方衛生処理一部事務組 合し尿処理場建設 (S41年~42年) 事業費 2,700,000円	昭和41年度事業分	1,178,000						66,000	1,112,000
3. 成人病 予防検診	成人病 35才以上の希望者 子宮がん 30才以上の希望者	成人病 28人 8月31日実施 子宮がん 127人 7月1日実施	103,180					53,500		49,680
4. 法定伝染病 予防関係	(1) 赤痢 3名 (41.4.1.~4.41.9.1~13) (2) デブテリア 2名 (41.8.24~9.17)	白河地方隔離病舎に収容 5名 (延人員 60名)	97,168	291,264 (但し昭和 40年度分)						(194,096)
民生関係 1. 老人健康診査	1. 対象人員 (イ) 一般診査 235人 (41.9月) (ロ) 精密診査 37人 (42.3月)	受診者 (イ) 121人 1人当 219円 (ロ) 6人 1,577円 村負担(検診料無料)	31,147		18,630					12,517
2. 敬老会	41. 9. 15実施 70才以上の対象者 281名 記念品の贈呈	出席者 170名 その他来賓 44名	71,470							71,470
6. 老人クラブ	(1) 活動内容 (イ) 教養の向上 (ロ) 健康の増進 (ハ) レクリエーション (ニ) 地域社会との交流 (2) 老人の数 485名 (3) 会員数 380名	(イ) 12回 (ロ) 36回 (ハ) 15回 (ニ) 9回 計 72回	71,400		42,000					29,400

昭和41年度決算資料

教育委員会

月 日	事 業 名	事 業 計 画	事 業 成 績	事 業 費	左 の 財 源 内 訳				
					国支出金	県支出金	起 債	その他	一般財源
着工41. 5.14 完工41.12.28	泉崎第一小学校改築工事	鉄筋造二階建校舎 1,230 ^m ² (372坪)	教室 8. 管理室 8. 便 所 2. 廊 下	33,430,000	10,111,800		19,000,000		4,315,200
41. 4. 2 41. 4.12	泉崎第一小学校改築にか かる地質調査工事	地質ボーリング 2ヶ所	地 中 11 ^m 2ヶ所 ボーリン グ実施基礎調	120,000					120,000
42.1 .20 42.3 .10	泉崎第一小学校給水施設 工事	水源さく井 配管工事	ヒューム管 1,500 ^m =2.43 3.5本 パイプ1 ¹ / ₂ 340 ^m 配管	310,000					310,000
42. 3.10 42. 3.31	泉崎第一小学校給水施設 の電気設備工事	水源と受水槽の配電	水源と受水槽に配電設備 電柱11本配線 350 ^m 制御盤	270,000					270,000
42. 3.10 42. 3.30	泉崎第一小学校給水源周 辺防護工事	周辺に防護柵をつくる	杭木、有刺鉄線でかこむ	22,000					22,000
小 計	5			34,152,000	10,114,800		19,000,000		5,037,200
42. 2.17 42. 3.25	泉崎第二小学校校庭便所 建築工事	ブロック造、 鉄 板 葺一棟	長 4.64 ^m ×巾3.20 ^m 15 ^m ²	295,000					295,000
41. 8. 6 41. 9.20	泉崎第二小学校自転車置 場建設工事	鉄骨建、壁ブロック造 一棟	巾 2.60 ^m 長 10.80 ^m	70,000					70,000
41.10. 8 41.10.15	泉崎第二小学校屋体屋根 塗装工事	屋体屋根塗装	52.8 ^m ² ×48 雨 樋、その他	26,900					26,900
小 計	3			391,900					391,900
41. 6.20 41. 6.25	泉崎中学校減菌器取付 工事	給水井減菌器取付 2ヶ	井 戸 2ヶ所 明星式 自動減菌器	77,000					77,000
42. 2.22 42. 2.28	泉崎中学校漏電警報器取 付工事	漏電警報器 1.	100A分割型 ナショナル 1	32,000					32,000
42. 2.17 42. 3.25	泉崎中学校地排水暗渠側 溝工事	排水整備、側溝整備、 暗渠	暗渠埋設 42 ^m 300 ^{mm} 暗渠改修 45 ^m 校庭排水側溝 128 ^m 校地裏ユニーク型	335,000					335,000
41.10. 8 41.10.18	泉崎中学校屋根塗装工事	屋根塗装	校 舎 1,052 ^m ² ×48=50,496 雨 樋 その他 昇降口 28,280	77,700					77,700
小 計	4			521,700					521,700
合 計	12			35,065,600	10,114,800		19,000,000		5,950,800

課名 住民課 (国保会計)

事業名	事業計画	事業成績						事業費	左の財源内訳					
		非世帯主分		世帯主(準世帯主)分		総数			国庫支出金	県支出金	起債	負担金 寄附金	その他	一般財源
		件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額							
国民健康保険	保険給付													
	療養給付費	8,976	22,401,351	2,644	7,924,464	11,620	30,325,815	17,699,847	9,729,972				1,923,804	6,046,071
	療養費	37	116,512	25	123,496	56	240,008	145,793	75,411					70,382
	療養諸費	9,007	22,517,863	2,669	8,047,960	11,676	30,565,823	17,845,640	9,805,383				1,923,804	6,116,433
	助産給付					48	96,000	96,000	26,000					70,000
	葬祭給付					40	80,000	80,000	0					80,000
	計	9,007	22,517,863	2,669	8,047,960	11,764	30,741,823	18,021,640	9,831,382				1,923,804	6,266,453

年間平均被保険者数 (A) 5,023
 年間平均世帯数 (B) 914
 (A)-(B) (C) 4,109

被保険者1人当り
 療養諸費費用額

総数 (D÷A) 6.085
 世帯主分 (E÷B) 8.805
 被世帯主分 (F÷C) 5.480

直診特別会計

1. 保険種別実績並に成績

区分 種別	実績															収入済額 に対する比		
	件数		金額		被保険者負担金		保険者 負担分	診療収入			一部負担金			合計				
	件数	金額	収入 件数	未収 金額	入院	外来		計	入院	外来	計	入院	外来	計				
自村国保	10,582	5,990,404	9,013	2,055,330	1,569	303,519	3,631,555	13,347	3,001,044	3,014,391				13,347	3,001,044	3,014,391	38.26	
他村国保	903	667,767	787	183,477	116	34,645	449,645	20,722	413,178	433,900				20,722	413,178	433,900	5.51	
社会保険	6,845	4,162,625	1,642	426,655	5,203	57,589	3,678,381		3,787,077	3,787,077			28,143	28,143		3,815,220	3,815,220	48.42
生活保護法	854	581,919			854		581,919		485,730	485,730						485,730	485,730	6.16
一般	263	135,100	208	110,395	55	24,705			129,485	129,485						129,485	129,485	1.65
手数料	105	24,300	104	23,900	1	400												
雑入	11	980	11	980														

(10) 第20号 広報いすみなさ 昭和42年9月15日

昭和41年度泉崎村国民健康保険特別会計決算書

歳 入

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額の比較
1.国民健康保険税		7,730,000	9,399,219	7,795,343	3,316	1,600,560	65,343
	1.国民健康保険税	7,730,000	9,399,219	7,795,343	3,316	1,600,560	65,343
2.使用料及手数料		11,000	14,130	14,130	0	0	3,130
	1.手 数 料	11,000	14,130	14,130	0	0	3,130
3.国庫支出金		13,060,000	12,444,383	12,444,383	0	0	△ 615,617
	1.国庫負担金	11,597,000	11,065,383	11,065,383	0	0	△ 531,617
	2.国庫補助金	1,563,000	1,379,000	1,379,000	0	0	△ 84,000
4.財産収入		2,000	493	493	0	0	△ 1,507
	1.財産運用収入	1,000	493	493	0	0	△ 507
	2.財産収入	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
5.繰越金		663,000	663,113	663,113	0	0	113
	1.繰越金	663,000	663,113	663,113	0	0	113
6.諸収入		118,000	147,134	147,134	0	0	29,134
	1.延滞金及過料	73,000	80,040	80,040	0	0	7,040
	2.預金利子	40,000	67,094	67,094	0	0	27,094
	3.雑収入	5,000	0	0	0	0	△ 5,000
歳入合計		21,584,000	22,668,472	21,064,596	3,316	1,600,560	△ 519,404

歳 出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額の比較
1 総務費		2,015,000	1,919,829		95,171	95,171
	1.総務管理費	1,445,000	1,427,962		17,038	17,038
	2.徴税費	379,000	370,432		8,568	8,568
	3.運営協議会費	191,000	121,435		69,565	69,565
2 保険給付費		18,544,000	18,162,838		381,162	381,162
	1.療養諸費	18,354,000	17,986,838		367,162	367,162
	2.助産諸費	96,000	96,000		0	0
	3.葬祭費	94,000	80,000		14,000	14,000
3 保健施設費		1,011,000	978,863		32,137	32,137
	1.保健施設費	1,011,000	978,863		32,137	32,137
4 基金積立金		2,000	0		2,000	2,000
	1.基金積立金	2,000	0		2,000	2,000
6 諸支出金		2,000	0		2,000	2,000
	1.償還金及償還付加算金	2,000	0		2,000	2,000
6 予備費		10,000	0		10,000	10,000
	1.予備費	10,000	0		10,000	10,000
歳出合計		21,584,000	21,061,530		522,470	522,470

歳入歳出差引雑額

3,066円

昭和42年9月 日提出
昭和42年9月 日認定

泉崎村長 小針喜一郎

昭和41年度 泉崎村国民健康保険 診療施設勘定特別会計決算書

歳入	款	項	予算現額	調定額	収入済額	不欠納損額	収入未済額	予算現額と収入済額の比較
1 診療収入			11,804,000	11,484,374	11,010,116		474,258	△ 793,884
	1.入院収入		1,850,000	89,288	89,288			△1,760,712
	2.外来収入		9,943,000	11,371,186	10,896,928		474,258	953,928
	3.其他の診療収入		11,000	23,900	23,900			12,900
2 繰越金			2,048,000	2,048,454	2,048,454			454
	1.繰越金		2,048,000	2,048,454	2,048,454			454
3 諸収入			31,000	86,931	86,931			55,931
	1.雑入		1,000	53,046	53,046			52,046
	2.預金利子		30,000	33,885	33,885			3,885
歳入合計			13,883,000	13,619,759	13,145,501		474,258	737,499

歳出	款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額の比較
1 総務費			7,988,000	7,519,966		468,034	468,034
	1.施設管理費		7,988,000	7,519,966		468,034	468,034
2 医療費			4,684,000	4,587,240		96,760	96,760
	1.医療費		4,684,000	4,587,240		96,760	96,760
3 予備費			1,211,000			1,211,000	1,211,000
	1.予備費		1,211,000			1,211,000	1,211,000
歳出合計			13,883,000	12,107,206		1,775,794	1,775,794

歳入歳出差引残額 1,038,295円

昭和41年度簡易水道特別会計歳入歳出決算書

歳入	款	項	予算現額	調定額	収入済額	不欠納損額	収入未済額	予算現額と収入済額の比較
1 水道事業収入			76,000	94,700	94,700	0	0	18,700
	1.営業収入		76,000	94,700	94,700	0	0	18,700
2 使用料及手数料			815,000	860,588	762,488	0	98,100	△ 52,512
	1.給水収入		772,000	809,073	710,973	0	98,100	△ 61,027
	2.手数料		3,000	0	0	0	0	△ 3,000
	3.修繕料		40,000	51,515	51,515	0	0	11,515
3 寄付金			53,000	65,500	65,500	0	0	12,500
	1.寄付金		53,000	65,500	65,500	0	0	12,500
4 諸収入			2,686,000	0	0	0	0	△2,686,000
	1.雑入		2,686,000	0	0	0	0	△2,686,000
歳入合計			3,630,000	1,020,788	922,688	0	98,100	△2,707,312

歳出	款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額の比較
1 総務費			248,000	231,886	0	16,114	16,114
	1.施設管理費		248,000	231,886	0	16,114	16,114
2 水道事業費			494,000	473,840	0	20,160	20,160
	1.営繕費		494,000	473,840	0	20,160	20,160
3 公債費			802,000	671,000	0	131,000	131,000
	1.公債費		802,000	671,000	0	131,000	131,000
4 諸支出金			1,975,000	1,974,993	0	7	7
	1.前年度歳入繰上充用金		1,975,000	1,974,993	0	7	7
5 予備費			111,000	0	0	111,000	111,000
	1.予備費		111,000	0	0	111,000	111,000
歳出合計			3,630,000	3,351,719	0	278,281	278,281

歳入歳出差引残額 △2,429,031円 歳入歳出差引歳入不足額 △2,429,031円 このため翌年度歳入充用金 2,429,031円

昭和42年9月
昭和42年9月

日提出
日認定

泉崎村長 小針喜一郎

報 告 事 項

昭和41年度に於て下記の方々から寄附の採納願出がありましたのでお知らせ致します。

昭和41年度寄附者芳名 (自昭和41年4月1日
至昭和42年3月31日)

1. 消 防

金 額	住 所	氏 名
3,000	泉崎村大字関和久字上町	穂 積 正 義
2,000	" 大字北平山字滝田下	小 林 岩 次
3,000	" 大字関和久字下町	木 戸 元 明
3,000	" 大字太田川字四ッ谷前	渡 辺 繁 美
3,000	" 大字北平山字堂ノ下	菊 地 吉 郎
5,000	" 大字関和久字富内	岡 部 博 道
5,000	" 大字泉崎字川畑	中 畑 幹 雄
3,000	" 大字関和久字上町	木 野 内 覚 夫
3,000	" 大字関和久字上町	鈴 木 庄 吉
5,000	" 大字北平山字堂ノ下	菊 地 欽 一

2. 一 般

金 額	住 所	氏 名
4,000	泉崎村大字関和久字下町	木 戸 元 明
3,000	" 大字関和久字上町	緑 川 直 衛
2,000	" 大字踏瀬字踏瀬	白 岩 太 吉

3 教 育

第一小	第二小	中学校	計	氏 名	住 所
	3,000	3,000	6,000	穂 積 正 義	関和久字上町
5,000		5,000	10,000	佐々木 正 至	泉崎字新宿
	3,000	3,000	6,000	小 林 岩 次	北平山字滝田下
	3,000		3,000	木 戸 元 明	関和久字下町
	3,000		3,000	駒 橋 セ ツ 子	関和久字上町
3,000		3,000	6,000	緑 川 直 衛	関和久字上町
	3,000		3,000	渡 辺 繁 美	太田川字四ッ谷前
	3,000	3,000	6,000	菊 地 吉 郎	北平山字堂ノ下
	5,000	5,000	10,000	岡 部 博 道	関和久字富内
5,000		5,000	10,000	中 畑 幹 雄	泉崎字川畑
3,000	3,000	3,000	9,000	木 野 内 覚 夫	関和久字上町
	3,000	3,000	6,000	鈴 木 庄 吉	字関和久字上町
2,000			2,000	白 岩 太 吉	踏瀬字踏瀬
5,000	5,000	5,000	15,000	菊 地 欽 一	北平山字堂ノ下
計 23,000	34,000	38,000	95,000		

祝 長 寿

敬老会は9月29日に実施

おとしよりを敬い感謝し健康をお祝いする敬老の日は9月15日ですが、村では行事その他の都合で9月29日午前11時から中学校講堂で行なうことになりましたのでお知らせいたします。

該当者は村内居住者で、今年満70才以上の方270名で、それぞれ招待状をお届けいたしますがとりおちがないとも限りませんので、住民課までご連絡下さい。

なお今年88才以上の方には「敬老の日」の9月15日、県知事からの敬老年金とお祝いの品々が贈られ西白河事務所長さんから手渡されました。

88才以上の方々

佐川 登具さん	88	愛宕町82
小林徳三郎さん	88	富久保1
酒井 トヨさん	88	踏瀬長峯
佐川 エクさん	93	踏瀬
筋内 コウさん	91	踏瀬

これが完成しますと、巾5メートルの道路と常時多くの水が流れ万一災害の時は5ヶ所にある角落しに板止めすれば貯水池に変ることになり、水の心配がなくなります。

工事中は何にかと御迷惑かと存じますが、宜しく御協力下さる様お願いします。

(産業課土木係)

みんなで道路を きれいにと奉仕作業

8月は道路を守る月間にあたり全県下一日奉仕作業を行つております。私たちの村も皆さんの奉仕の心で道路を立派に致しました。文化の発展は道路から、また道路無くして文北の発展はあり得ないとまで云われています。

泉崎村には大小合せて約19万メートルの道路があります。この中には国道、県道、村道、農道、林道、私道、牧道、その他いろいろの道路がありますが、これらはいずれも国県村私と管理者によつて維持されます。これ等の道路は私達が一日として無くて生活は出来ません。皆さん大事に、そしていつでも美しく使いたいものです。

本当に奉仕作業ありがとうございました。

【議会だより】

9月定例議会

昭和42年度9月定例村議会は、9月2日招集され会期を5日間と決め次の案件を議決した。

1. 昭和42年度泉崎村一般会計補正予算
2. 昭和42年度国民健康保険特別会計補正予算
3. 昭和42年度簡易水道事業特別会計補正予算
4. 昭和41年度泉崎村歳入歳出の決算認定について

側溝整備事業着工 きまる (新田)

長い間の念願でありました新田の町中を流れる堀は両側にあり、道路が狭く大雨の時は氾濫し、いろいろと困つた問題もありましたが、このほど設計も出来あがり、9日5社によつて入札致しましたが矢吹町山陽工業株式会社(星敬二氏)が195万円で落札、10日から仕事にかかり11月30日完成する予定であります。

工事は西側の堀を大きく東側を小さくしいつでもコンクリート舗装となり、長さ331メートルとなります。

草地改良事業

第三期工事着工

昭和40年度より着工した太田川牧野草地造成改良事業も、今年度分3ヘクタールの工事が去る8月30日役場に於て入札され、矢吹町高田工業に104万円で落札しました。今年度の施行面積は草地3ヘクタール、牧道425メートル施行され完成されると草地10ヘクタール、牧道1,145メートル、牧草の生産年間350トンとなります。

管理者も毎年充分手入し、栄養のある草を作ることに努力しますから皆さんどしどし使用して下さい。尚申込みは、太田川牧野組か役場産業課に！ (産業課)



[写真は…鳥川附近の奉仕作業]

「若い農業者の集い」に 大森君ら13名が参加



〔写真は…参加したみなさん〕

県主催の「若い農業者の集い」は、8月21日から23日まで表磐梯猪苗代町営牧場で開かれた。

この集いは県と県教委県4Hクラブなどがキャンプ生活を通じて日ごろの農業技術生活技術を交換し合い農村青少年の友情を深めようというねらいで開かれた。

第1日は県知事、県教育長県下市町村長及び改良普及所市町村等の関係者が出席して開会式を行ない、夜はキャンプファイヤーが行なわれた。

2日目は畜産、園芸特産、普通作物、生活の4部門に分れて演説発表があり夜は猪苗代盆踊りを楽しんだ。3日目は71の分科会に分れてグループ活動や生活改善などの問題について活発な話し合いを行ない、各自がそれぞれ持参した記念品を交換し合つて閉会した。

3日目の農業の近代化をすすめるために「若い農業者はどんな学習をしたらよいか」のテーマで話し合いをした或るグループでは、農民は労働者ではなく経営者であるという考えを持ち、他の産業と同じく利潤を追求することが必要だ、又学習の面でも、農業技術だけでなくもつと幅広い学習が必要だ、又青年学級やラジオ農業学校も活用すべきだなどの意見がでていました。

参加者のほとんどがグループ活動の中での経験者だけに発言も活発であつたようです。いずれにし

ても最初の試みであつたが政治も介入せず若い青年がのびのびと高原の初秋を楽しみながら友情を深め明日への農業と取り組む意欲がはつきりと現われ大きな成果がありました。

参加者は次のとおりです。

- | | |
|---------|--------|
| 大森 健男君 | 太田川農研 |
| 小林日出夫君 | 〃 |
| 兼子 行雄君 | 関和久米作研 |
| 木野内重信君 | 〃 |
| 緑川 喜明君 | 〃 |
| 鈴木 正弘君 | 〃 |
| 鈴木 博君 | 〃 |
| 岡部 博君 | 〃 |
| 星 文子さん | (花嫁講座) |
| 大沢 初美さん | 〃 |
| 小松 礼子さん | 〃 |
| 有賀 静枝さん | 〃 |
| 五十嵐一子さん | 〃 |

なお村長さんも開会式に出席し参加者を慰問激励して下さいました。

付添として農委田崎、教委根本各書記が参加。

村民体育大会

実りの秋はスポーツの秋でもあります。例年実施しております村民体育大会も両地区合同してから4年目を迎えました。今年も次をよりに実施いたしますので多数参加されますようお願いいたします

- 1.期 日 10月1日(日)
午前8時30分
(雨天のときは10月3日)
合同午前6時30分花火打上

2.会場 中学校々庭

3.競技種目

近日中にプログラムを送付いたしますが種目の概要は

・部落対抗種目

イ、紅白玉入れ(男女各15名)

ロ、力くらべ<綱引き>
(男女各20名)

ハ、リレー女子

小学校 4,5,6年 } (100m)
中学校 1,2,3年 }
20才代

3040代 (50m)

ニ、〃 男子

小学校 4,5,6年 (100m)
外は (200m)

その他青年婦人各種団体

一般、高令者、来賓等の個人団体
競技

高令者による郷土盆踊りや婦人による踊りなど披露され総じて23種目になり盛会が予想されます。

なお優勝部落には優勝杯を授与し栄誉を讃えることになりました。

(この優勝杯は優勝年度中部落保管とし次期大会に返還する)

いずみ4Hクラブ誕生

村に住んでいて農業に従事している25才未満の女性だけの4Hクラブが誕生しました。

4Hクラブは全国的に組織のあるクラブで実践活動を通じて自分を磨きお互いに力を合せて新日本をつくるために

1. 農業の改善と生活の改善に役立つ腕をみがきます
2. 科学的に物を考えることのできる頭の訓練をする
3. 友情に富む心をつちかいます
4. 楽しく暮らし元気で働くための健康を増進します

の4つの合言葉をかけ農業生産や農家生活の向上のために研究しあうクラブです。

いずみ4Hクラブでは結成早々なのでまず楽しく暮らし元気に働くためのエネルギー源の勉強というわけで料理と衣服の学習にとり組む計画のようです。

若い人達が話し合いの場をもつことは大変よいことであり又必要なことです。どうかみんなで協力してお互の向上のために努力されることを期待します。

会の役員は次のとおりです。

- 会長 小松礼子
副会長 大沢初美
会計 有賀静枝・中野日まり子
書記 鈴木隆子

国民年金委員の委嘱

昭和36年4月に国民年金事業が開始されてから7年になり本村の被保険者は約2千人になつて居ります。これだけの方々に対し役場の係員だけで一人一人にゆきとどいたお世話ができませんので、今後の国民年金事業の育成発展と円滑な推進を図り、住民福祉の向上に協力していただくために、次の4名の方が去る8月29日付で泉崎村国民年金委員に、委嘱されました。

- 佐々木茂春 踏瀬字踏瀬22
- 吉田 広吉 泉崎字愛宕山8
- 田崎大四郎 関和久字添久保25
- 小針 藤重 北平山字新田49

●国民年金に該当している人で、まだ加入していない人は、至急加入して下さい。尚くわしいことは係までおたずね下さい。

慶弔欄

- ◎出生おめでとうございます。
氏名 父 住所
高久 正和 勇 字松ヶ沢28
芳賀 敦士 一俊 字上町 121
- ◎謹んでお悔み申し上げます。
河島 キヨ 関和久字下町68
佐藤喜代子 泉崎字下宿42
田崎 胤寿 関和久字坂下25
箭内清次郎 踏瀬字踏瀬20
三村 フミ 泉崎字椗内42

交通事故 移動相談所

交通事故による問題解決は容易なことではありません。両者の意見の対立は勿論加害者の誠意の問題、被害者の執着などが解決を長びかせているわけです。

そこで県では被害者の損害賠償問題更生問題援護関係等を中心に移動相談所を開設し相談に応ずることになりました。期日、場所、相談事項は次のとおりです。

1. 期日 毎月5日午前9時から4時まで
但し5日が休日のときは6日
2. 場所 西白河事務所内
(白河市道場小路93)
3. 相談事項
(1)相談者は被害者、その遺家族親族又は代理者
(2)相談は交通事故による損害賠償問題、更生問題、援護関係等
(3)相談は無料で、秘密に関する事項は厳守する

原動機付自転車の 標識(鑑札)換えの お知らせ

皆さんも御承知のように、先般自動車損害賠償責任共済保険が原動機付自転車にも適用され、今迄の標識(鑑札)では「保険標章」を表示することが容易でなく、また標識番号が一部見えなくなつたりいたしますので、寸法を大きく車種別をはつきりさせるために番号の前に記号を入れた新しい標識が出来ました。そのため左記によりいままでの標識を全部付け換えを実施いたしますので、バイクの

所有者は洩れなく付け換えを済まして下さい。

尚既に新しい標識の交付を受けている方はその必要はございません。又お出の際は現在つけてある古い標識とバイクを持参(運転)の上新しい標識を受けて下さい。

記
期日 昭和42年9月25日より同月29日まで
時間 午前9時から午後4時まで
場所 泉崎村役場(税務課)

村有林の 下刈作業実施

村有財産である山林の下刈を、去る9月7日実施致しましたところ、関係部落の皆様の熱意ある御協力により初期の計画を達成しました。

なお実施にあたり村議会議員の方々は全員出席下さいまして御指導いただきましたことを併せて報告します。

下刈実施した場所

金山 本年新植松、杉面積 1.7ヘクタール、金山 41年度植付、松面積 1.5ヘクタール、下陣場41年度植付、樹種松 1.8ヘクタール。

作業実施した部落は西地区全部で大部分の皆様がご出席いただきました。ことに、太田川部落は、100%の出席率でありました。厚くお礼申し上げます。

可搬式動力ポンプ購入

防火体制の万全を期し、村では可搬式動力ポンプ1台を購入し、瀬知房第6分団(分団長田崎定男)に備付けました。

生前贈与の特例とは

農業後継者確保と農地の細分化防止のために、昭和39年から農地等の生前贈与に納期限延納の特例がもうけられた。更にこの特例を受けた贈与については登録税の軽減が認められる。

その認められる期間及び条件等は次のとおりである。

1. 特例が認められる期間
昭和39年1月1日より昭和43年12月31日までの期間に贈与されたもの。
2. 贈与財産
特例の対象となる贈与財産は農地(耕作の目的に供される土地)の全部と採草放牧地の三分の二以上の土地を一括して1人に贈与したときに限る。
3. 贈与者の条件
農地等を贈与した日までに引続き3年以上農業を営んでいた個人(この証明は農業委員会で行なう。)
4. 受贈者の条件
①贈与者の推定相続人の1人であること。
②贈与を受けた日の年齢が20才以上であること。
③贈与を受けた日までに引きつづき3年以上農業に従事していたこと。
④贈与を受けた日後すみやかに贈与を受けた農地について農業経営を行なうこと。
③④は農業委員会の証明が必要。
5. 最初に知事の許可が必要
農地等の生前贈与(所有権の移転)を行なうときは、農業委員会に所有権移転の許可申請書を提出し知事の許可を受けなければならない。
6. その他細かい数々の点は省略するので、農業委員会にお尋ね下さい。

みのりの秋に

…… 保険料の前納を ……



◎ 国民年金保険料の前納制度とは

掛け金を前払いするという事です。ご承知のとおり国民年金の加入者は、職業も所得もまちまちですので、かけ金は納期前であれば毎月納めるとか、年4回納めるとか、それぞれ加入者のつごうのよい時期にすることになっておりますが、そのほか、1年、3年と年を単位にした分、あるいは46年3月までの分を一度に納めることができますことになっております。

納付書に、金額や、氏名、住所など書きこんでもよりの銀行、郵便局へ払い込めばよいのです。(国民年金印紙によっても前納ができます)

- ・前納できる期間
1年以上～昭和46年3月分まで
- ・割引額
年利5分5厘(複利計算による)

・払いもどし
前納したあとで会社へ勤めたり、死亡したりして国民年金の資格がなくなつた場合は、また経過しない期間の分は請求によつてお返しすることになっております。

◎ 前納額の例

(42年11月に25才・37才の方が前納したとき)

前納期間	25才			37才		
	前納額	毎月納めたとき	割引額	前納額	毎月納めたとき	割引額
1年分(42.11~43.10)	2,340円	2,400円	60円	2,930円	3,000円	70円
3年分(42.11~45.10)	7,650	8,300	650	9,320	10,100	780
46年3月までの分	8,710	9,550	840	10,590	11,600	1,010

◎ ぜひこの秋に前納制度をご利用ください

年1回の収入となつている農家経済的にゆとりのある家庭で毎月あるいは年4回のかけ金がめんどろという方にとっては、簡単に手続きができ、しかも安心な国民年金前納制度をおすすめします。

(注) 昭和44年1月から35才未満250円、35才以上300円と保険料額が変わります。

◎ 前納の手続はとても簡単です

- ・納める方法
市町村役場に備えつけてある

<前納についての、くわしいことは、村役場国民年金係、または管轄の社会保険事務所にご相談ください。>

防犯

皆んなで気をつけて 犯罪をなくしましょう

◇欲しい空巣狙いに対する工夫

昨年福島県下で発生した窃盗犯は、13,814件で、その被害は実に2億7千2百万円に達しました。窃盗の中で特に多いのは、万引、ついで自転車盗、空巣狙い等でこれらの犯罪が窃盗の約半数を占めています。

みのり秋、野良に出て収穫に多忙をきわめている間や、一家総出のリクレーションでるすにした間にゴッソリ衣類を盗まれたり、トラの子の財布を盗られたりしては大変です。では、こうした被害を防止するにはどうすればよいでしょうか。

- ・まづチヨツトの留守にも必ず戸締まりをする
- ・ルスするときはお隣りに声を

かけルス中の用心をたのむ

ことなどが大切でしょう。また異常なこと不審な点があつた場合は防犯連絡所を中心とした連絡通報体制を日頃から皆んなで考え、暮しに役立つ防犯体制をつくり上げることが大切です。

なお次の事に気を配り、あなたの大切な財産をドロボーの被害から守りましょう

◇欲しい戸締りに対する工夫

出入口、窓には構造、性能をよく吟味してよい鍵をえらび、鍵を二段、三段構えとし、主錠がはずれても補助錠が役立ち、ドロボーの侵入を防ぐような工夫が必要です。

◇ルスする場合の工夫

ルス宅に侵入するドロボーが空

巣です。アキスは午前10時から午後4時ごろの昼間に多く発生しています。

これがためには一見してドロボーにルスを知らせるような方法では空巣狙いの思ひ壺です。道路よりの家ではカーテンを半締めにしておく、タイムスイッチで夜になると電灯のつくような方法、家の周囲にハンゴや箱を放置してドロボーの足場にするようなことがないように絶えず気を配るなど、ルス中の用心に格段の工夫が必要で

あ と が き

今月号は決算報告を主としました関係上、表や数字が多いので横書きにしました。読みにくいと思いますが御容赦下さい。

